

いらっしやいませ通信

九月九日土曜日

天山の保護者のオ



おかげさまで。学習の様子はいかがでしたか。

に参観していただきました。

ありがとうございました。

九月は、

例年、人権に関する学習を保護者の皆様に参観していただいています。

今年も、人権講演会として、少年サポーターのレッド隊長こと安永智美さんのお話を聞きましした。

テーマは「御守りをつくろう。」



自分の御守りの中に大切なことを入れて...

レッド隊長のお話を紹介します。参加した五年生と保護者の皆様は、どんな「御守り」をついたのでしょうね。

脳の話

脳はとってもデリケート

両親がけんかばかりをして見たくありません。すると子ども

の脳の視覚の働きが悪くなります。暴力や体罰を日常的に受けていると、痛みや心の傷を感じなくなります。

泣いてはいけないうと、本当は悲しくても泣けません。涙も出なくなってしまう。

子どもに必ず話してください。



大人の役割

いやなことなかつた?」「いいじめられたくない」と子どもたちに話すことはあっても、次のことを話してはなりません。

あなたは、いじめをしていないよ。命も、うけつけないよ。絶対にしてはいけない。絶対にと伝えるべき、私のところには

バターじゃなく、おキャッチャー



大人の役割2

子どもたちは深刻な問題ほどおうちのの人に相談なんてできません。小さな相談を重ねて信頼できる大人を探しています。もし勇気を挙げて、子どもが相談してきたら...

自分でも考えなさいとの、今忙いから後でいなんて、子どもの気持ちも打ち返していたら二度と相談できなくなりま

勇気を出して相談してくれてありがとう。(私を信頼してくれてありがとう)一緒に考えようから大丈夫だよ。と伝えたらどうでしょう

レッド隊長はお子さん

を初めて腫にだいたときどんな思いがありましたか。思い出して下さい。その思いこそ全ての原点だと話されました。

生まれてきてあげよう

レッド隊長のお話は、地域の講演会等お聞きするとかでできます。是非、機会をみつけてご参加下さい。なお紙面の内容は、私が一語に受講して、私の考えを混じりの講演記録です。ご説明下さい。

